

C10L 他に分類されない燃料；天然ガス；サブクラスC 1 0 GまたはC 1 0 Kに包含されない工程により得られる合成天然ガス；液化石油ガス；燃料への添加剤の使用；火災着火剤 [5]

- 1/00 液体炭素質燃料
- 1/02 ・実質的に炭素，水素および酸素のみからなる成分に基づくもの
- 1/04 ・実質的に炭化水素の混合物に基づくもの
- 1/06 ・スパーク点火用
- 1/08 ・圧縮点火用
- 1/10 ・添加剤を含有するもの

注

(1)グループC 1 0 L 1 / 1 2 ~ C 1 0 L 1 / 1 4 においては，ラストプレース優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り，化合物は最後の適切な箇所に分類される。

(2)添加剤が混合化合物であれば，重要な化合物それぞれを分類する。[8]

(3)化合物の金属塩またはアンモニウム塩の場合はその化合物の項に分類される，例．スルホン酸クロムはC 1 0 L 1 / 3 0 にではなくスルホン酸塩としてC 1 0 L 1 / 2 4 に分類される。

- 1/12 ・無機化合物
- 1/14 ・有機化合物
- 1/16 ・炭化水素
- 1/18 ・酸素を含有するもの
- 1/182 ・ヒドロキシ基を含むもの；その塩 [8]
- 1/183 ・少なくとも1つの，芳香族炭素原子に結合した水酸基を有するもの[8]
- 1/185 ・エーテル；アセタール；ケタール；アルデヒド；ケトン [8]
- 1/188 ・カルボン酸；その塩 [8]
- 1/189 ・少なくとも1つの，芳香族炭素原子に結合したカルボキシル基 [8]
- 1/19 ・エステル [8]
- 1/192 ・高分子化合物 [8]
- 1/195 ・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応によってえられるもの [8]
- 1/196 ・炭素 - 炭素不飽和結合及びカルボン酸またはその塩，無水物若しくはエステルを含有する重合体に由来するもの [8]
- 1/197 ・炭素 - 炭素不飽和結合およびアシルオキシ基または炭酸を含有する重合体に由来するもの [8]
- 1/198 ・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応により得られるもの [8]
- 1/20 ・ハロゲン含有するもの
- 1/22 ・窒素を含有するもの

- 1/222 ・少なくとも1つの，炭素 - 窒素単結合を含有する化合物を含有するもの [8]
- 1/223 ・少なくとも1つの，芳香族炭素原子に結合したアミノ基を有するもの [8]
- 1/224 ・アミド；イミド [8]
- 1/226 ・少なくとも1つの窒素 - 窒素結合を含有するもの，例．アゾ化合物，アジド，ヒドラジン [8]
- 1/228 ・少なくとも1つの炭素 - 窒素結合二重結合を含有するもの，例．グアニジン，ヒドラゾン，セミカルバゾン，イミン；少なくとも1つの炭素 - 窒素酸重結合を含有するもの，例．ニトリル [8]
- 1/23 ・少なくとも1つの窒素 - 酸素結合を含有するもの，例．ニトロ化合物，硝酸塩，亜硝酸塩 [8]
- 1/232 ・複素環中に窒素を含有するもの [8]
- 1/233 ・環中に窒素および酸素を含有するもの，例．オキサゾール [8]
- 1/234 ・高分子化合物 [8]
- 1/236 ・炭素 - 炭素不飽和結合のみに関与している反応により得られるもの [8]
- 1/238 ・炭素 - 炭素不飽和結合のみに関与している反応以外の反応により得られるもの [8]
- 1/2383 ・ポリアミン若しくはポリイミン，またはその誘導体 [8]
- 1/2387 ・ポリオキシアルキレンアミン [8]
- 1/24 ・硫黄，セレンまたはテルルを含有するもの
- 1/26 ・りんを含有するもの
- 1/28 ・けい素を含有するもの
- 1/30 ・グループC 1 0 L 1 / 1 6 ~ C 1 0 L 1 / 2 8 で列挙されていない要素を含むもの
- 1/32 ・石炭 - 油懸濁物または水性エマルジョンからなるもの
- 3/00 ガス体燃料；天然ガス；サブクラスC 1 0 G，C 1 0 Kに包含されない工程により得られる合成天然ガス；液化石油ガス [5]
- 3/02 ・アセチレンを含有する組成物
- 3/04 ・吸収組成物，例．溶剤
- 3/06 ・天然ガス；C 1 0 G，C 1 0 K 3 / 0 2 またはC 1 0 K 3 / 0 4 に包含されない工程により得られる合成天然ガス [5]
- 3/08 ・合成天然ガスの製造 [5]
- 3/10 ・天然ガスまたは合成天然ガスの仕上げ処理加工 [5]
- 3/12 ・液化石油ガス [5]
- 5/00 固体燃料（液体燃料の固化により製造する

C 1 0 L

| | | | |
|-------|--|-------|--|
| | ものC 1 0 L 7 / 0 0 ; 泥炭のブリケット C 1 0 F 7 / 0 6) | | 固体燃料の燃焼を向上させるために添加剤 を用いるものC 1 0 L 9 / 1 0)[1 , 8] |
| 5/02 | ・鉱物源の炭素質物質から主に成る練炭(で い炭を原料とした練炭C 1 0 F) | 10/02 | ・煙の発生を減少させるためのもの |
| 5/04 | ・使用される原料物質; その前処理 | 10/04 | ・腐食または固着物を最少にするためのもの |
| 5/06 | ・練炭化(B r i q u e t t i n g) プ ロセス | 10/06 | ・ばい煙除去を容易にするためのもの |
| 5/08 | ・外部からのバインダの補助をもたないもの | 10/08 | ・潤滑性を向上させるためのもの; 摩擦を 減少させるためのもの[8] |
| 5/10 | ・バインダの補助をもつもの, 例. 前 処理されたバインダを含有するもの | 10/10 | ・オクタン価を向上させるためのもの[8] |
| 5/12 | ・無機質バインダをもつもの | 10/12 | ・セタン価を向上させるためのもの[8] |
| 5/14 | ・有機物バインダをもつもの | 10/14 | ・低温特性を向上させるためのもの[8] |
| 5/16 | ・瀝青質バインダ, 例. タール, ピッチ, をもつもの | 10/16 | ・流動点抑制剤[8] |
| 5/18 | ・ナフタレンをもつもの | 10/18 | ・グループC 1 0 L 1 0 / 0 2 ~ C 1 0 L 1 0 / 1 6 に分類されない目的に用いら れる洗剤または分散剤[8] |
| 5/20 | ・亜硫酸石灰をもつもの | 11/00 | 焚き付け具 |
| 5/22 | ・バインダを他の配合物成分に供給 する方法; そのための装置 | 11/02 | ・耐火性多孔質体に基づくもの |
| 5/24 | ・練炭化期間中におけるじんあい問題の 解決; 爆発に対する安全装置 | 11/04 | ・可燃性物質からなるもの(マッチC 0 6 F) |
| 5/26 | ・練炭の後処理 | 11/06 | ・特殊な形状のもの |
| 5/28 | ・練炭の加熱; バインダのコークス化 | 11/08 | ・そのための製造装置 |
| 5/30 | ・練炭の冷却 | | |
| 5/32 | ・コーティング | | |
| 5/34 | ・練炭の他の細部 | | |
| 5/36 | ・形状 | | |
| 5/38 | ・異なる層から成るブリケット | | |
| 5/40 | ・実質的に非鉱物源の物質に基づくもの | | |
| 5/42 | ・動物性物質またはそれから得られる生 成物に基づくもの | | |
| 5/44 | ・植物性物質に基づくもの | | |
| 5/46 | ・下水, 家庭または町のくずに基づくもの | | |
| 5/48 | ・工業残渣または廃物に基づくもの(C 1 0 L 5 / 4 2 , C 1 0 L 5 / 4 4 が優 先)[4] | | |
| 7/00 | 液体燃料の固化により製造される燃料 | | |
| 7/02 | ・液体燃料 | | |
| 7/04 | ・アルコール | | |
| 8/00 | このサブクラスの他のグループに分類され ない燃料[8] | | |
| 9/00 | 固体燃料の燃焼性を改良するための処理 | | |
| 9/02 | ・化学的手段によるもの | | |
| 9/04 | ・水素添加によるもの | | |
| 9/06 | ・酸化によるもの | | |
| 9/08 | ・熱処理によるもの, 例. か焼 | | |
| 9/10 | ・添加剤の使用によるもの | | |
| 9/12 | ・酸化の手段, 例. 酸素発生化合物 | | |
| 10/00 | 特定の目的のための燃料または火災への添 加剤の使用(固体燃料を練炭化するための バインダを用いるものC 1 0 L 5 / 1 0 ; | | |